



パネルディスカッション 「都市交通計画とPT調査」

コーディネーター 原田 昇（東京大学教授）

パネリスト

黒川 洸（一般財団法人計量計画研究所）

毛利雄一（一般財団法人計量計画研究所）

谷口 守（筑波大学教授）

村山顕人（東京大学准教授）



I. パネルディスカッションの趣旨

前半の都市交通計画の
記憶、実務、方向性に関する発表を受けて、

パーソナリティ調査の来し方と今後の行く末に関して

- 1) 50年の過去を振り返り、
PT調査の実施に当たり 心得ておくべきこと
- 2) 現在、そして、未来に向けて、取り組むべきこと

について、考えたい。



II. パネルディスカッションの構成

1. はじめに
2. 心得ておくべきこと
3. 取り組むべきこと
 - ◎「交通の流れのパターン」をふまえた計画づくりはどうあるべきか
 - ◎「質の高い交通空間」のための交通調査はどうあるべきか
 - ◎「活力あるまち」「暮らしやすいまち」など、こんなテーマに関してこんな調査や分析が必要ではないか
4. フロアとのやり取り
5. おわりに



II. パネルディスカッションの構成

- ◎心得ておくべきこと
黒川洸×谷口守、村山顕人
- ◎「交通の流れのパターン」をふまえた計画づくりはどうあるべきか
谷口守×毛利雄一
- ◎「質の高い交通空間」のための交通調査はどうあるべきか
村山顕人×谷口守
- ◎「活力あるまち」「暮らしやすいまち」など、こんなテーマに関してこんな調査や分析が必要ではないか
黒川・毛利×谷口×村山